担当教員 が	構造力学 安全で安心 コンクリート: 群馬県はコン 究が昔からで する造詣が	2 単位 や文化を理解させ、今後の組積造のあり方 , 鉄筋コンクリート構造、鋼構造、木質構造 な構造物を提案することのできる能力を ブロック、レンガ レクリートブロック生産が日本一であり、コニテわれてきた。また、群馬県内には未だに 深い地域であることが知られている。地域 。	選択 学期 後期 こついて考えさせ i, 耐震工学などに う。	1810 曜 日 月曜日 でる能力を身にこ で数する学修を を用いた組積が をが残っており,	通じて, 人(
担当教員 が 教育目的・目標 学科の学習・教育目標との関係キーワード 授業の概要	 株井 秋男、山中 地域の産業・ 構造で安力 コンクリート 群馬県はコン究は告話がきる するりでいく 第1回: 	単位数 2 単位 2 単位 2 単位 や文化を理解させ、今後の組積造のあり方 鉄筋コンクリート構造、鋼構造、木質構造な構造物を提案することのできる能力を登り、コンプロック、レンガ マクリートブロック生産が日本一であり、コンテわれてきた。また、群馬県内には未だに深い地域であることが知られている。地域。	学 期 後期 こついて考えさせ i, 耐震工学などに う。	曜日 月曜日 一る能力を身につ こ関する学修を を用いた組積が をが残っており	時 限 7 時限 つけさせる。 通じて, 人		
授業の教育目的・目標 学科の学習・教育目標との関係 キーワード 授業の概要	地域の産業・ ・ 構造力学 安全で安心 コンクリート: 群馬県はコン 究が昔からで する造詣がで を学んでいく 第1回:	2 単位 や文化を理解させ、今後の組積造のあり方 、鉄筋コンクリート構造、鋼構造、木質構造 な構造物を提案することのできる能力を表 ブロック、レンガ レクリートブロック生産が日本一であり、コニテわれてきた。また、群馬県内には未だに 深い地域であることが知られている。地域	後期 こついて考えさせ i, 耐震工学などに う。 シクリートブロック 多くの煉瓦造建第	月曜日 でる能力を身にて に関する学修を を用いた組積が をが残っており、	7 時限 Oけさせる。 通じて, 人(
授業の教育目的・目標 学科の学習・教育目標との関係 キーワード 授業の概要	地域の産業・ ・ 構造力学 安全で安心 コンクリート: 群馬県はコン 究が昔からで する造詣がで を学んでいく 第1回:	2 単位 や文化を理解させ、今後の組積造のあり方 , 鉄筋コンクリート構造、鋼構造、木質構造 な構造物を提案することのできる能力を ブロック、レンガ レクリートブロック生産が日本一であり、コニテわれてきた。また、群馬県内には未だに 深い地域であることが知られている。地域 。	こついて考えさせ i, 耐震工学などに う。 ンクリートブロック 多くの煉瓦造建築	る能力を身にて に関する学修を を用いた組積が をが残っており、	つけさせる。		
目的・目標 学科の学習・教育 目標との関係 キーワード 授業の概要	・ 構造力学 安全で安心 コンクリートコ 群馬県はコン 究が昔からで する造詣が を学んでいく 第1回:	, 鉄筋コンクリート構造, 鋼構造, 木質構造 いな構造物を提案することのできる能力を表 ブロック, レンガ レクリートブロック生産が日本一であり, コニテわれてきた。また, 群馬県内には未だに 深い地域であることが知られている。地域	i, 耐震工学などに う。 	こ関する学修を を用いた組積が をが残っており,	通じて, 人		
目標との関係 キーワード 授業の概要	安全で安心 コンクリート: 群馬県はコン 究が昔からで する造詣が を学んでいく 第1回:	な構造物を提案することのできる能力を養 ブロック、レンガ ンクリートブロック生産が日本一であり、コ: テわれてきた。また、群馬県内には未だに 深い地域であることが知られている。地域 。	きう。 - クリートブロック 多くの煉瓦造建翁	を用いた組積が をが残っており,			
受業の概要	群馬県はコン 究が昔からる する造詣がる を学んでいく 第1回:	ノクリートブロック生産が日本一であり, コニテわれてきた。また, 群馬県内には未だに深い地域であることが知られている。地域。	多くの煉瓦造建築	をが残っており,	造に関する		
	究が昔からる する造詣がえ を学んでいく 第1回:	テわれてきた。また,群馬県内には未だに 深い地域であることが知られている。地域 。	多くの煉瓦造建築	をが残っており,	告に関する		
伝来の計画			群馬県はコンクリートブロック生産が日本一であり、コンクリートブロックを用いた組積造に関する 究が昔から行われてきた。また、群馬県内には未だに多くの煉瓦造建築が残っており、組積造に する造詣が深い地域であることが知られている。地域産業や文化を通して、今後の組積造のあり を学んでいく。				
授業の計画	笙 2 回・	組積造の概要説明 (担当: 藤井秋男)					
	, 까니다.	組積造の耐震性 (担当: 藤井秋男)					
	第3回:	3 回: コンクリートブロックとは(担当: 藤井秋男)					
	第4回:	34回: 組積造の事例紹介(その1)(担当:藤井秋男)					
	第5回:	組積造の事例紹介(その2) (担当:藤井	秋男)				
	第6回:	型枠コンクリートブロック造の設計(その 1) (担当: 藤井秋	男)			
	第7回:	型枠コンクリートブロック造の設計(その 2) (担当: 藤井秋!	男)			
	第8回:	補強コンクリートブロック造の設計(その 1) (担当: 藤井秋	男)			
	第9回:	補強コンクリートブロック造の設計(その 2) (担当: 藤井秋	男)			
	第 10 回:	補強コンクリートブロック造の設計(その3) (担当: 藤井秋!	男)			
	第11回:	煉瓦造の地震被害 (担当: 藤井秋男)					
	第 12 回:	煉瓦造の耐震補強(その 1) (担当: 藤井	秋男・山中憲行)				
	第 13 回:	煉瓦造の耐震補強(その2) (担当: 藤井	秋男•山中憲行)				
	第 14 回:	煉瓦造の耐震補強(その3) (担当: 藤井	秋男・山中憲行)				
		まとめ (担当: 藤井秋男)					
受講条件·関連 科目	受講条件:構造力学 I・II,材料力学を受講していること。						
授業方法	教科書やプリ	リントを基本にして説明を行う。					
テキスト・参考書	参考書: 壁式構造関係設計規準集・同解説 (メーソンリー編), 日本建築学会 無補強煉瓦造建築及び市街地建築物法期の鉄筋コンクリート造建築耐震性能評価ガイド ライン(財団法人 国土開発技術研究センター)						
成績評価	・期末試験(100%) ・レポート(%) ・小テスト(%) ・その他()(%)						
履修上の注意							